

大阪美しい景観づくり推進会議 参画団体の景観づくり活動報告書

【令和5年度】

目 次

P3	はじめに
P4	独立行政法人 都市再生機構
P5	公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会
P6	国土交通省
P7	公益財団法人 大阪都市整備推進センター
P8	公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会
P9	大阪商工会議所
P10	ライオンズクラブ国際協会
P11	公益社団法人 大阪府建築士会
P12	一般社団法人 大阪府建築士事務所協会
P13	一般財団法人 大阪府老人クラブ連合会
P14	関西電力株式会社
P15	一般社団法人 大阪ビジネスパーク協議会
P16	豊中ロマンチック街道21世紀の会
P17	久宝寺寺内町まちづくり推進協議会
P19	特定非営利法人 八尾すまいまちづくり研究会
P20	景観人の集い
P21	マチヤ・テラス
P22	千里まちづくり協議会
P24	大阪市
P25	大阪府

はじめに



■大阪美しい景観づくり推進会議の目的

私たちがとりまく環境はさまざまなもので構成されています。こうした要素を一体と覚ることが景観です。それゆえに環境に関わる人みんなが一体となって取り組んでいかなければ、景観はよくなっていきません。

大阪美しい景観づくり推進会議は、府民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、ともに協働して景観づくりに取り組むことにより、大阪の豊かで世界に誇れる美しい景観づくりを府民運動として展開していくことを目的に、景観づくりに積極的に取り組んでいる府民や事業者の参画を得て、平成6年12月1日に設立されました。

■景観とは何でしょうか

「景観」は「景」を「観」ること成り立っています。つまり、私たちのまわりにあるさまざまなもので構成されている環境を、私たち人間が眺め、感じたものが「景観」といえます。私たちは、まわりにある環境の状態を、さまざまな感覚を通して感じるによって評価したり、チェックすることができます。

私たちの感覚の中では、視覚が支配的になりがちです。そのため、景観でも視覚的な側面が強調されることが少なくありません。しかし、私たちの体は、感覚すべてを使って環境を感じとっています。よい景観とは、視覚だけでなく、音や香り、触覚などすべて感じがよい状態のことです。

さて私たちをとりまく環境、また、それを眺めた状態である景観はどのように形づくられているのでしょうか。景観はさまざまな要素から成り立っています。山並みや川、海といった自然の要素は、私たちの景観の土台や骨格を形づくっています。また、農地やため池、建築物や道路、橋りょうといった構築物があります。さらにこうしたさまざまなものが集合して景観は成り立っているのです。

私たちの生活は、環境にさまざまな働きかけを行います。そして、環境を変えたりもします。こうした行為が積み重なって景観が形づくられていきます。そうした意味では、景観は私たちの生活文化が形になって表れたものであるといえます。

単なるうわべの化粧ではよい景観を形づくることはできません。質の高い生活文化があつてこそ、本当によい景観ができるのです。(『大阪府都市景観ビジョン(平成7年)』 1 都市景観づくりの基本的方向 から抜粋)

1. 独立行政法人都市再生機構

2. URL: <http://www.ur-net.go.jp/>

3. 活動趣旨、目的

機能的な都市活動及び豊かな都市生活を営む基盤の整備が社会経済情勢の変化に対応して十分に行われていない大都市及び地域社会の中心となる都市において、市街地の整備改善及び賃貸住宅の供給の支援に関する業務を行うことにより、社会経済情勢の変化に対応した都市機能の高度化及び居住環境の向上を通じてこれらの都市の再生を図るとともに、都市基盤整備公団から承継した賃貸住宅等の管理等に関する業務を行うことにより、良好な居住環境を備えた賃貸住宅の安定的な確保を図り、もって都市の健全な発展と国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。



泉北パークヒルズ竹城台



うちまちだんち

4. 令和5年度の活動実績

○『泉北パークヒルズ竹城台』における良好な居住環境の創出

団地の建替え事業にて、泉ヶ丘駅前立地の賑わいのある都市的景観とともに、隣接するため池(丑池)、緑道や成熟した樹木等による自然豊かな景観とも調和する新たな集合住宅の居住環境を整備。

○『カリグラシマガジン うちまちだんち』での情報発信

ウェブマガジン『カリグラシマガジン うちまちだんち』において、引続き、UR 賃貸住宅の景観形成や UR のまちづくりに係る情報のほか、UR 事業を中心にしながら、周囲の街の動きや、そこにしかない暮らしについて、様々な角度からの情報を発信。

5. 令和6年度 活動予定内容

○景観に配慮したまちづくりの誘導

「人が輝く都市」を目指して、美しい景観づくりや安全・安心な暮らし及び環境配慮等の取り組みを進めるため、関与している事業地区において、「景観ガイドライン」を策定し、まちづくりの誘導を実践。

○UR賃貸住宅の屋外空間等の魅力を伝える『カリグラシマガジン うちまちだんち』

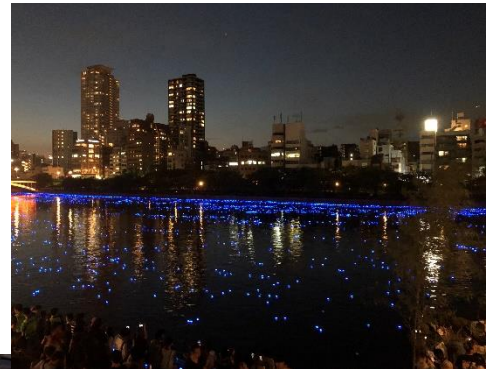
UR 賃貸住宅の景観形成等に係る情報のほか、団地を中心にしながら、その周囲に広がる街の動きや、そこにしかない暮らしについて、様々な角度からの情報をウェブマガジンとして発信予定。

1. (公財)関西・大阪 21 世紀協会

2. URL: <http://www.osaka21.or.jp/>

3. 活動主旨

大阪の賑わい創りに貢献し、街の活性化、大阪ブランド向上に寄与する



会場最寄の各駅にも
サイネージを活用して
情景を演出
(京阪電鉄提供)

4. 令和5年度の活動実績

■2009 年以降実施してきた「天の川伝説」《七夕の夜、人々の願いごとを託した LED（発光ダイオード）を光源とする光の玉「いのり星®」を大川（旧淀川）の川面に放流し、天の川伝説にゆかりの深い天満を「天の川」にする》のイベントは、新型コロナ禍の影響により中止が続いていたが、2023 年度は従来より規模を縮小して『令和天の川伝説 2023』として開催された。

開催にあたっては、主催者の構成団体メンバーから協力者へと立場は変わったものの企画、当日運営等に従来同様に関与している。

■御堂筋を中心に街路灯にバナーを掲げて街の盛り上げを図ってきたが、現在も通年にわたりバナー掲出の担当エリアについて所有の取付金具を活用して協力している。掲出場所は御堂筋（淀屋橋～本町、心齋橋付近）、土佐堀通り（淀屋橋付近）が中心となっている。

5. 令和6年度 活動予定内容

令和 5 年度と同様の活動となる予定

1. 国土交通省

2. URL:<http://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/index.html>

3. 活動趣旨、目的

景観法、屋外広告物法などにに基づき、良好な景観形成の推進や公衆に対する危害の防止を目的に、優れた都市景観を生み出す事例の表彰などを行い、意識啓発を図る。

4. 令和5年度の活動実績

○ 都市景観大賞の募集と表彰

- ・ 良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指す。

募集期間: 令和5年 11 月 1 日～令和6年2月 22 日

参考:<https://www.udc.or.jp/publics/index/69/>

○ 屋外広告物適正化旬間の実施

- ・ 屋外広告物の適正化を一層推進するため、毎年 9 月 1 日～10 日までを実施期間の基本として設定し、屋外広告物法及び、同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する国民や企業の意識啓発を推進していく。
- ・ 都道府県、政令指定都市、中核市、業界団体・連合会等へも、協力依頼を行う。
- ・ 各自治体における期間中の取り組みや活動の実績について、旬間終了後に取りまとめ、公表する。

参考:http://www.mlit.go.jp/toshi/townscape/crd_townscape_tk_000012.html

5. 令和6年度 活動予定内容

○ 都市景観大賞の募集と表彰

○ 屋外広告物適正化旬間の実施

1. (公財) 大阪府都市整備推進センター

2. URL: <https://www.toshiseibi.org/>

3. 活動趣旨、目的

市街地の整備・開発・保全に係るまちづくりの推進、公共用地の有効活用による都市環境の改善及び建設発生土等を活用した環境共生型のまちづくりを行うことにより、大阪府域における秩序ある良好な市街地の形成に寄与するとともに千里丘陵地区及び泉北丘陵地区における居住者等の利便性を確保することを目的とする。



4. 令和5年度の活動実績

まちづくり初動期活動サポート助成

大阪府域において地域住民が主体となった「まちづくりに係る初動期の活動」を支援するため、助成を行うものです。

(1) 助成の対象とする「まちづくり活動」は次のものです。

(ア) 土地区画整理・市街地再開発・道路整備・公園整備等の「街の形づくり」を目指した活動

(イ) 地区計画・建築協定・緑化協定などの「ルールづくり」を目指した活動

(2) 「まちづくりの目的」が次のような活動も助成の対象とします。

(ア) 防犯、防災、バリアフリーなどの「安全・安心なまちづくり」を目指した活動

(イ) 良好なまちなみ・景観の保全、生活道路整備などの「良好な住環境の保全・住環境の改善」を目指した活動

(ウ) 空き店舗の活用やポケットパークの整備などの「街なかの再生」を目指した活動

(エ) 交通渋滞の解消や交通安全対策などの「交通環境、交通問題の改善・解消」を目指した活動
など

(オ) 大阪府及びその周辺を含めた各まちづくり活動につながる広域連携型のまちづくりを目指した活動

(カ) 商店街の活性化、地域資源の掘り起こし等の賑わいづくり活動で、府や市の計画の位置づけがあり、地域の活性化・魅力向上につながる活動

○はじめの一步助成部門 4 団体

○初動期活動助成部門 9 団体

5. 令和6年度 活動予定内容

応募受付 令和6年5月7日頃～5月31日頃(予定)

審査会 令和6年6月下旬(予定)

助成決定 令和6年7月上旬(予定)

1. 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

2. URL: <http://www.ogtrust.jp/>

3. 活動趣旨、目的

府民の参画や協働による自然環境の保全運動及び緑化運動を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与する。



4. 令和5年度の活動実績

○緑の募金事業

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金」の周知を図るとともに募金運動を展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めた。

「緑の募金」運動を、幅広い参加による府民運動として推進していくために、大阪府、府内市町村、公立私立各種学校関係、ボーイスカウト・ガールスカウト・緑の少年団などの青少年団体、経済団体、企業、市民団体の積極的な協力を得て実施した。

・生駒山系花屏風構想の推進

大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立て、府民の皆さんとの協働で、花や紅葉の美しい樹木を植樹し、生駒山系に四季折々の彩りをもった屏風として、次世代に引き継ぐ“生駒山系花屏風構想”を推進するための植栽活動や維持管理活動への支援を行った。

5. 令和6年度 活動予定内容

令和4年度と同様に、広く府民からの参画を求めながら、引き続き事業を実施する。

1. 大阪商工会議所

2. URL: <https://www.osaka.cci.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

- 大阪に住み、働く市民の誇りを高める「大阪シビック・プライド醸成事業」を通じて、大阪の都市ブランドの向上、都市の魅力発信を図る。
- 企業、団体、地域住民など様々な主体と連携し、まちの賑わいづくり「美しさ・魅力づくり」「安全・安心」の3つの観点



本町橋橋洗い

4. 令和5年度の活動実績

- 大阪の繁華街ミナミにおける環境浄化と環境美化に向けた取り組み
大阪を代表する繁華街ミナミにおいて、地元が取り組む客引き防止や放置自転車対策などの環境浄化と環境美化に協力し、だれもが安全安心で楽しめるまちづくり活動を行った。具体的には、大商、自治体、地元団体等で構成する「ミナミ活性化協議会」において、「安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまち」、「魅力とにぎわいのあふれるまち」の実現に向けた共同アピールの採択を行った。なお、例年実施している啓発パレードについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、昨年度に引き続き今年度も中止となった。
- まちの環境美化に向けた活動の推進
・東横堀川にかかる大阪市内最古の現役橋「本町橋」(大阪市指定文化財)周辺の環境美化、魅力向上に向け、地元住民、企業、店舗などとともに設立した「本町橋100年会」で清掃活動に取り組んでいるほか、2023年5月28日には大阪市中央区役所と連携し、地域住民や企業の方々とともに デッキブラシで橋をきれいにする「橋洗い」を実施した。
- 水と光を軸とした都市魅力向上に向けた取り組み
大商と自治体等で構成する「水と光のまちづくり推進会議」(会長:鳥井信吾大商会頭)において、水と光を軸とした都市魅力の向上に関する取り組みを行った。具体的には、大阪市内の水辺を活性化する公民一体型の組織「水都大阪コンソーシアム」を支援したほか、イルミネーションを活用した観光集客力の向上を目的に「大阪・光の饗宴」を実施した。また、水辺の賑わい拠点「β本町橋」を核とした東横堀川・本町橋船着場周辺地域の魅力向上策の検討や、淀川の舟運を活用した観光魅力づくりへの取り組みも行った。

5. 令和6年度 活動予定内容

ミナミを中心とした客引きや放置自転車対策などの環境浄化と環境美化に向けた取り組み、及び大阪の水辺に重点をおいたまちの魅力向上に向けた活動を引き続き実施する。

1. ライオンズクラブ国際協会

2. URL: <https://www.lionsclubs.org/ja>

3. 活動趣旨、目的

()

4. 令和5年度の活動実績

- 環境保全に関する奉仕活動アイデア調査
 - ・組織下 146 クラブ、6325 名に対して、景観づくり、環境保全のための CO2削減の大切さを徹底しそこから(輪)を広げる
- 優秀な環境保全活動を実施したクラブを表彰する
- 青少年、子供達、地域社会の方々と共に CO2 削減に取り組む(シンポジウムの開催など)
- 川・海特に水の問題に取り組む川・海特に水野問題に取り組む(2重になっているので削除をお願い致します)
 - ・大和川、淀川などの美化運動
- 会員に対する環境啓発活動の徹底
- 植樹等の緑化運動、校庭の芝生化
- 「地球温暖化防止」研修会を各地で開催してもらう
- 里山の保全に取り組む

5. 令和6年度 活動予定内容

()

1. (公社)大阪府建築士会

2. URL: <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

建築士が地域社会の発展に寄与するため、建築士と地域住民等が連携し、まちの景観や地域環境を高める様々な地域貢献まちづくり活動に対し活動費助成(地域貢献活動基金の活用)や技術支援をするとともに、大阪府・大阪市・吹田市・箕面市の景観整備機構団体の指定を受け、景観まちづくり調査、まち歩きイベント、後援等を行なっている。



4. 令和5年度の活動実績

○まちづくり活動団体への助成実績等

・営利を目的としない活動団体を対象に景観部門・一般部門に分けて募集し、審査の上、景観形成など地域貢献にふさわしいテーマとなる事業に対し、最長 3 年のまちづくり活動助成を行っている。5 年度は、貝塚市の稚谷(きびたに)地域活性化自然保護グループ、茨木市の Locaco Project(ロカコプロジェクト)、大阪市の Park Labo(パークラボ)と十八条村・蒲田村郷土史研究会の 4 団体の事業に対し助成を行った。

今回の団体への助成活動費は、基金とクラウドファンディングによる募金を原資とした。なお、現在までに助成した総数については 63 団体(年度別の集計数)となっている。

○建築士会会員等による、まち歩きなどの景観まちづくり活動

・先導的にまちづくり活動を行っている地域でのまち歩きやワークショップを通じて、それぞれのまちづくり理念や手法、建築士の関わり方等について、市民の参加を得ながら情報交換や啓発活動を行っている。(写真の上 10/14 の団地をテーマにしたニュータウンまち歩きの様子)

・助成団体が地域で実施しているワークショップ等の活動に参加し、交流や情報提供等を行った。

○イベントの後援(他の景観まちづくり活動の支援)

・オープンナガヤ大阪実行委員会主催「オープンナガヤ大阪 2023」(11/18-11/19 で対面開催。大阪の古い長屋を公開し情報発信するイベント)に対し 13 年目となる後援を行った。

○大阪地域貢献活動助成団体報告会・交流会の開催

・4 団体(上記の助成実績等に記載済み)から事業報告、意見交換等の交流会を開催。(写真の下 12/2 の大阪府建築士会にて開催の様子)

5. 令和6年度 活動予定内容

社会のウイズコロナ時代への移行を踏まえ、新たなまちづくり活動のあり方を総合的に検討しながら、団体への助成、士会会員による景観まちづくり活動、イベントへの後援、WEB を活用したまちづくり手法の研究などを行う。

1. 一般社団法人大阪府建築士事務所協会

2. URL: <https://www.aaaf.or.jp/>

3. 活動趣旨、目的

まちづくり主体者の参加を得て景観まちづくりの要諦を具体的に解き明かし、それに関る方にもスポットを当て、まちづくり主体、行政、市民、専門家、それぞれの役割等をまちづくりの現場から学ぶ実践講座を開催し、また、府民への取組みとして建築士の解説を交えながら、都市景観資源について周知を行っている。

4. 令和5年度の活動実績

(1)ぶらり大阪“景観”ウォーク此花・大正区編(下記予定)

普段見慣れている風景について景観を意識しながらまちあるきを行い、大阪市の都市景観資源等の解説を行う。

〔開催日時〕令和6年3月30日(土)10時45分～17時00分

〔対象地区・コース〕此花区・大正区

住之江公園南側(日時計付近・集合場所)→新木津川大橋と木津川渡船場→大正内港のはしけ棧橋→京セラドーム大阪・タグボート・旧岩崎運河→湊標住吉神社→旧鴻池本店・本宅→本宮鴉宮→大阪広域環境施設組合舞洲工場・舞洲スラッジセンター→2025年日本国際博覧会・予定地→コスモタワー(大阪府咲洲庁舎)(解散)

(2)☆ぶらり大阪“景観”ウォーク此花・大正区編が J:COM で放送された。

「J:COM チャンネル」(地デジ 11ch)

令和6年2月の毎週 木曜日 7:45～/日曜日 21:00～

J:COM YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=VszNq3fNoRQ>



5. 令和6年度 活動予定内容

(1)景観まちづくり事業の実施

(2)景観整備機構受託事業の展開

(3)防災まちづくり事業の実施

(4)まちづくりネットワークの整備

1. 一般財団法人 大阪府老人クラブ連合会

2. URL: <https://www.sc-osaka.org/>

3. 活動趣旨、目的

老人クラブの全国三大運動(健康・友愛・奉仕)の一環として毎年9月20日に全国一斉「社会奉仕の日」とし、5月30日は大阪府内で「ごみゼロの日」とし地域の環境美化活動に取り組む。

4. 令和5年度の活動実績

○老人クラブ「社会奉仕の日」

・全国老人クラブ連合会並びに都道府県・政令指定都市老人クラブ連合会が提唱して、毎年9月20日に『社会奉仕の日』を設定し、又、平成9年度からは府下一斉に5月30日に『ごみゼロの日』を設定し、「花のある町、ゴミのない町」をスローガンに、クラブ員参加のもとに環境美化活動に取り組むことにより、地域社会に対する感謝を示すとともに、地域の担い手としての活力を広く示す。

(令和5年5月現在のクラブ数、会員数の状況:府内33市町村の連合会、1,829クラブ、105,767人)

5. 令和6年度 活動予定内容

○大阪府老人クラブ連合会「ごみゼロの日」(5月30日)

○老人クラブ「社会奉仕の日」(9月20日)

※その他に各市町村の連合会や地域の単位クラブごとで、道路や公園などの清掃美化・緑化活動を実施

1. 関西電力株式会社

2. URL: <https://www.kepcoco.jp/>

3. 活動趣旨、目的

○関西電力グループの事業活動や社会貢献活動などを通して、地域・コミュニティとの共生を図っており、地域のみなさまと連携した美化活動に取り組んでいます。

4. 令和5年度の活動実績

○関西電力本店ビル周辺の清掃を実施しました。

・実施時期: 2023年6月

・参加人数: 当社従業員、グループ会社



5. 令和6年度 活動予定内容

○引き続き美化活動に取り組めます。

1. (一社)大阪ビジネスパーク協議会

2. URL : <http://www.obp.gr.jp/>

3. 活動趣旨、目的

大阪ビジネスパーク協議会は、公園の中のビジネス街をコンセプトに大阪城公園の玄関口にふさわしいビジネス街、豊かな公的空間を活用しエリア回遊性を向上するにぎわい交流空間の創出など、エリアの価値向上を図ることを目的に取り組むエリアマネジメント団体

4. 令和5年度の活動実績

○地区環境美化運動

地区のより良い環境を維持するため、エリア企業とワーカーの参加を得て寝屋川・第2寝屋川沿いのリバーサイドパーク周辺の清掃活動(毎週木曜日)に取り組むとともに、エリアの一斉清掃活動と駐輪マナーの啓発に取り組む「クリーン&マナーアップ」キャンペーン(年4回)を実施

○OBP 協議会の植花活動

緑と水が豊かなビジネスゾーンである OBP の魅力を一層高め、ワーカーや来訪者が憩える環境づくりを目的に、2021年10月に OBP 協議会の花壇を造成し、花壇の名前は公募により「OBP Blooming Place」と名付けた。2022年10月に拡張造成を行い、現在、寝屋川沿い(約 25 m²)とパークアベニューの樺の木の前元の8つの小スペースにナチュラルスティックガーデンを展開している。

2023年10月に花壇の周知とともに緑とお花の OBP エリアの周遊を楽しんでもらう「ガーデンウォークラリー」を開催した。



5. 令和6年度 活動予定内容

○地区環境美化運動と植花活動を継続して取り組む予定

1. 豊中ロマンチック街道21世紀の会

2. URL: <https://romachika.com/>

3. 活動趣旨、目的

<1> 光がつなぐ人と街づくり

- ・イルミネーション事業 シンボル花壇の活性化

<2> 『住みたい』を叶える街づくり

- ・<景観美化>緑あふれる街づくり活動
- ・<安全・安心>地域の声を行政に届ける実行力を持つ

<3> 人が集い、文化あふれる商業づくり

- ・イベント活動
- ・自発的な広報活動
- ・ロマチカの歩み 35周年記念事業



4. 令和5年度の活動実績

○花壇整備

毎月第一木曜日の午前10時～11時に豊中ロマンチック街道の花壇を整備

街の美化活動の一環と、豊中ロマンチック街道が大阪府からアドプト・ロードに認定されていることもあり、ボランティアの方と共に整備作業を行う

○花いっぱいプロジェクト

豊中ロマンチック街道 21 世紀の会が花苗を購入し、野畑小学校の児童と共に街道や地域に花を植える

○ロマチカ祭り2023

10月29日に豊中ロマンチック街道沿いで開催

4年ぶりとなるため、用意した50ブースに来場者多数

○ロマチカイルミ2023

11月中旬～翌年1月中旬にかけて、シンボル花壇に大きなツリーやサンタクロースの置物などを設置し、花壇全体をイルミネーションする

○35周年記念誌作成プロジェクト

毎月1回のペースではあるが、記念誌作成に向けて作業を続ける

5. 令和6年度 活動予定内容

○花壇清掃

○花いっぱいプロジェクト

○35周年記念パーティー

○ロマチカ祭り2024

○ロマチカイルミ2024

1. 久宝寺寺内町まちづくり推進協議会

2. URL: <http://kyu-machinami.or.jp>

3. 活動趣旨、目的

- ・久宝寺寺内町に残る歴史的遺産の継承
- ・八尾市のまちづくりにおける地域活動の拠点

4. 令和5年度の活動実績

①久宝寺寺内町街なみ景観保全要項に基づく「意見交換会」の実施

久宝寺寺内町の歴史的まちなみとその環境を保全し、歴史を活かしたまちづくりを進めるため、久宝寺寺内町で新築もしくはリフォームされる方に、八尾市、寺内町久宝寺まちづくり推進協議会、施主、建築事業者の四者で「久宝寺寺内町街なみ景観保全要綱」に定めてある基準の内容について意見交換会をおこない、より良い景観形成の実現を目指している。

※令和5年度「意見交換会」を実施した回数

7回(令和5年4/13、5/31、7/7、8/9、11/24、12/20、)

②第14回燈路まつりの開催

地元保育園、小、中、高等学校、地域住民、地元企業、寺、神社、介護施設の協力で「燈路まつり」を開催したが、点灯式直前に豪雨に見舞われ燈籠への点火は中止になったが、それ以外のイベントは雨の中継続し、多数の方々に来ていただいた。この模様は動画に納め、YouTube で発信した。

※令和5年9月10日実施

③久宝寺寺内町の大水路の清掃と花しょうぶの手入れ

久宝寺寺内町の南北を流れる大水路の景観を維持するために清掃、花しょうぶの手入れをおこなった。

※令和5年度「大水路の清掃と花しょうぶの手入れ」を実施した回数

4回(令和5年4/29、5/7、6/17、12/7)

④地元小学6年生を対象とした久宝寺寺内町案内の実施(フィールドワーク)

地元小学6年生に対し、授業の一環として久宝寺寺内町の名所旧跡を案内して、久宝寺寺内町の維持、管理を将来にわたって継承していただくため、歴史を学んでもらった。

※令和5年度フィールドワークを実施した回数

1回(令和5年10/17)

⑤久宝寺木綿(河内木綿)の伝承

地元小学校の全児童に綿苗を配布し、PTAにも働きかけ久宝寺木綿を育て収穫し、「久宝寺木綿出前授業」で綿繰・糸紬ぎ等を体験してもらい、親子で久宝寺木綿に関心がもてる活動を実施した。

※令和5年度「久宝寺木綿出前授業」を実施した回数

2回(令和5年11/7、10)

5. 令和6年度 活動予定内容

- ①「久宝寺寺内町街なみ景観保全要綱」に基づく「意見交換会」の実施
- ②第15回「燈路まつり」の開催
- ③久宝寺寺内町の大水路の清掃と花しょうぶの手入れ
- ④地元小学校6年生を対象とした久宝寺寺内町案内の実施
- ⑤久宝寺木綿(河内木綿)の伝承
- ⑥久宝寺寺内町の広報活動



①意見交換会



②燈路まつり



③大水路の清掃



④フィールドワーク



⑤綿の出前授業



⑥広報活動

1. 特定非営利法人 八尾すまいまちづくり研究会

2. URL: www.machi-ken.com/

3. 活動趣旨、目的

地域にねざした「すまいまちづくり」を実践するための調査・研究と行政と住民との協働のまちづくりを行い、もって豊かな地域社会の創造と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。NPO 法人八尾すまいまちづくり研究会は、略称『まち研』とも、呼ばれています。

4. 令和5年度の活動実績

主に八尾市を中心に活動しています。

- ・介護保険住宅改修助成金理由書作成・工事検査の受託(八尾市)
- ・重度障がい者等住宅改修助成に伴う業務受託(八尾市)
- ・住宅の耐震診断業務の受託及び改修工事の実施(八尾市)
- ・出前“住まいる講座”で「リフォーム×耐震補強セミナー」の実施→参加者 25 名
- ・「個性豊かな住環境づくり事業業務」を受託し、(八尾市)
 - ・住宅月間行事「八尾の伝えたい建築 学校建築 編」展示会(写真等)の実施→参加者 355 名
 - ・親子で楽しむ「住まい体験教室」で、木工フォトフレーム作製及びかんな削りや珪藻土塗り体験等の実施→参加者 14 名
 - ・建築士、弁護士による建築相談の実施
 - ・分譲マンションセミナー「大規模改修工事について」の実施→参加者 4 管理組合(9名)
 - ・住まいに関する情報誌「HOPE ニュース」の作成
- ・伝統民家の保存・記録を目的とした、柏原市の「伝統民家調査業務」を受託
- ・「八尾きらり」景観資源(古民家)の保全・利活用に関するセミナー等の実施→参加者 60 名
以上、一般市民を対象とした住まいに関する啓発活動を継続的に行っています。
- ・その他、NPO 法人独自の活動としては、住まいに関する相談、地域のまちづくり活動支援、古民家調査、先進都市の視察、防災かまどベンチづくりの企画・運営・設営協力、各委員会による自主勉強会なども行っています。

5. 令和5度 活動予定内容

住まいる講座「リフォーム×耐震補強」塾、八尾市・柏原市の伝統的民家の追跡調査、毎月の建築士・弁護士による建築相談相談員派遣、住宅月間の展示／イベントの企画・運営・記録、親子で楽しむ「住まいの体験教室」企画運営、伝統民家調査、HOPENEWS・まち研かわら版の作成発行、交流会・研修会の企画、運営、防災事業 かまどベンチ など

1. 景観人の集い

2. 関連 URL:

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/kakuka/tosiseisakubu/matidukuriseisakuka02/tantougyoumu/keikaku/keikan/kaikanjinnotudoi.html>

3. 活動趣旨、目的

○泉大津市の風土を反映した景観を市民皆で共有しまちづくりについて考えることを目的としている。

《主な活動》

- ・歴史こぼれ話: 有料で参加募集を行い、講師から泉大津を含む泉州周辺の話の聞く。
- ・泉大津市ウォーキング: 市内の景観を参加者と見て歩く。ウォーキングコースの見所解説や写真を入れたマップを作成し、市役所ロビーで展示する。
- ・絵のあるまちづくり: 市内の公共の建物に落書き防止のため絵を描く。
- ・まちかど探検隊: テーマを決めて一般募集を行い、入選作品を発表する。



《絵のあるまちづくり 南海鉄道高架東側》

4. 令和5年度の活動実績

○歴史こぼれ話

3回開催。

○「絵のあるまちづくり」落書き消し実施

○市民向け景観セミナーの準備

5. 令和6年度 活動予定内容

○市民向け景観セミナーの実施

広く景観をテーマに市民に対しセミナーを開催予定。

○景観活動の報告展示会(仮称)の実施

過去に作成した景観に関する資料等の展示会を開催予定。

《歴史こぼれ話》



《歴史こぼれ話 チラシ》

1. マチヤ・テラス

2. URL : <https://tmachiya.osakazine.net>

3. 活動趣旨、目的

関西における歴史まちづくりの活動です。

まちに残る歴史景観資源を「まちのたからもの」として
未来の子どもたちに伝えることを目指して活動しています。



左：鉄線を増やす作業の様子

右：高槻市広報誌にてご紹介いただきました

4. 令和5年度の活動実績

1. 歴史景観まちづくり：高槻城テッセン倶楽部の主導

高槻市内：高槻城ゆかりの鉄線(草花)が絶えかけていることに気付き、まちのたからもの(歴史・文化資源)として守り育て、後世に伝えるための活動です。高槻市のご協力も得て実際に鉄線を見つけ出し、現在、保護する段階から増やす段階へと移行しています。高槻城に返り咲きさせるのが中期目標です。

2. 町家・まちなみ調査と情報発信、活用提案

・歴史景観の調査と情報発信など

高槻市内：城下町での町家外観悉皆調査終了から10年後の追加調査を実施、現況を確認しました。

高槻市景観審議会にて結果を報告し、城下町歴史景観保全活用について提言しました。

吹田市内：特定地域の古民家外観調査、3年後の経年変化調査を実施しました。(聞き取り調査含む)

行政管理の代表的民家にて歴史景観についての意見交換会を行いました。

和歌山県内：特定地域の集落について、民家特性を調査分析して、複数大学連携事業にご協力しました。

奈良県内：特定地域の町家について意見交換会を行いました。

3. マチヤ・トココ(まち歩き)+マチヤ・カフェ

上記2にあわせて適宜実施しています。(コロナの縛りが緩んだため)

4. 行政(主に歴史景観施策)への協力

高槻市：・城下町の町家調査(2009年より実施)で得た情報(人脈含む)の提供に依拠しています。

・鉄線の企画について、官民を問わないまちの大事ととらえ協働を継続しています。

5. 令和6年度 活動予定内容

現在的な課題により、歴史的景観が減り続けている中、そのまちの地理や歴史、地縁、人の思いといっしょにまちの歴史・文化資源(町家や花など)をいかに生きたまま後世に伝え得るか、これを問い続けて活動します。

ご縁があれば大阪府内に限らず出向いています。

1. 千里山まちづくり協議会

2. URL: <http://blog.goo.ne.jp/chisato-wind>

3. 活動趣旨、目的

本協議会は大正時代に郊外住宅の理想郷として開発され、また戦後西日本初めての公団住宅が建設されるなど、伝統ある千里山地域をより美しくより豊かで生き生きとした街にする為に、地域住民や商業者その他関係者が協力しながら行政や関係機関、専門家と協働して、安全で安心なまちづくりの方策を検討し、次世代により良い環境の千里山を引き継ぐことを目的とします

4. 令和5年度の活動実績

(100周年記念プロジェクトを立ち上げ活動)

(1) 千里山入居100周年記念講演会開催

・ 2月19日「千里山のこれまでとこれから」シンポジウムとワークショップ

講師:岡絵里子さん(関西大学環境都市工学部教授)参加者 89名

・ 3月21日「千里山のこれからの景観形成について」

講師:藤本英子さん(京都市立芸術大学美術学部教授)参加者 43名

(2) 春の散策会開催 「千里山境界の大正ロマンを尋ねて」参加者 29名

4月8日 千里山地域内の散策

(3) 秋の散策会開催 「千里山開発の礎となった佐井寺」参加者 23名

10月21日 吹田市博物館学芸員 池田直子さんの解説

(4) スタンプラリーとフェスティバル開催

・10月21日～29日千里山～関大前商店 スタンプラリー

・10月29日 千里山会館を借りてのステージ・マルシェ・スタンプラリー景品交換・集合住宅アンケート

(5) 千里山入居100周年記念 今昔展開催

・10月27日～11月9日 ちさと図書館と共催し「今昔パネル展示」

・11月9日 講演会「千里山の歴史」講師:堀田暁生(当会員)

工作教室・本カバーバッグ作り・本交換会・読書会

(6) 100周年記念協賛プログラム

・3月25日「M's ライトギャラリー」さんによる「ワインと音楽の夕べ」

・2月11日～20日 10月1日～10日「八嶋重美子 書・仏画展」

・3月4日～10日 9月23日～30日「加治屋恵 絵画展」

(7) 千里山自治会と連携し地域課題への取り組み

(8) 会報「ちさとの風」発行

(9) 「大阪美しい景観づくり推進会議」に参画

(10) 奇数月定例会開催

5. 令和5年度 活動予定内容

- (1) 散策会の開催
- (2) シンポジウムや講演会の開催
- (3) 100周年プロジェクトの成果を冊子化する
- (4) 自治会や商栄会と連携して地域の課題に取り組む
- (5) 定例会の開催、会報発行、ブログ発信を継続
- (6) 「大阪府美しい景観づくり推進会議」への継続参加
- (7) 会員増を図り、新しいまちづくりを進める

1. 大阪市

2. URL: <https://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/category/3054-1-2-5-0-0-0-0-0-0.html>

3. 活動趣旨、目的

大阪が、今後とも活力ある都市として発展していくためには、市民や大阪を訪れる人々が大阪に美しさや魅力を感じ、快適に暮らし、活動できるまちであることが重要である。

都市景観の形成は、このようなまちづくりを進める上で重要な役割を果たすことから、地域の特性を生かし、都市の美しさや魅力を創造・発展させることを目的として、まちなみや水辺等の都市景観形成に向けた取組みを進めている。



《大阪市の景観資源例》

4. 令和5年度の活動実績

○大阪市景観計画に基づく行為の届出・事前協議の実施

地域の特性をいかした建築物等の誘導を図るため、大阪市景観計画に基づく行為の届出及び事前協議を行った。

○御堂筋デザインガイドラインの運用

本市のシンボルスリートである御堂筋のにぎわいと魅力あるまちなみ創造、ひいては御堂筋の活性化を推進するため、「御堂筋デザインガイドライン」「御堂筋沿道建築物のデザイン誘導等に関する要綱」等に基づく建築物等の誘導を行った。

○地域との協働による景観まちづくりの推進

市民等による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図る観点から、大阪市都市景観条例に基づく地域景観づくり推進団体の認定等により、地域との協働による景観まちづくりを推進するため、必要な支援を行った。

○景観に関する市民や事業者の意識の啓発

市民や事業者の景観に関する意識の啓発を図る観点から、大阪市都市景観条例に基づく都市景観資源の登録や既登録資源の情報発信の取組みを進めた。

○大阪市景観計画の変更

御堂筋における景観誘導のあり方を整理し、御堂筋を含む大阪市全域を網羅する総合的な計画となるよう大阪市景観計画の変更を行った。(令和6年4月1日予定)

5. 令和6年度 活動予定内容

大阪市景観計画の変更を踏まえ、大阪市景観読本の改定を行う。

市民や事業者による地域主導の景観まちづくりの取組を促進するため、必要な支援を行う。

1. 大阪府

2. URL : https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/keikan-ustukushii/

3. 活動趣旨、目的

大阪府内に点在する自然、歴史・文化、地域の個性などの景観資源を守り、創り、育て、活用し、きらりと光る個性豊かで、多彩な大阪の魅力を更に高め、世界に発信していくことで、多くの人々を惹きつける「きらめく世界都市」として、大阪を発展させていく。また、大阪の魅力を更に高め、質の高い、生活文化に根ざした個性的で優れた景観とすることにより、そこに住む人々に誇りと愛着をもつことができる生活空間を創造していく。

これらを踏まえて、府の景観形成の基本目標を『きらめく世界都市・大阪の実現』と定め、景観行政に取り組んでいる。



《大阪府の景観資源例》

4. 令和5年度の活動実績

○ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト

大阪府では、世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を眺めることができる場所(ビュースポット)を発掘し、「ビュースポットおおさか」として選定、府域内外に情報発信することで、府民・事業者・来訪者の景観への興味・関心の向上を図り、府域全体の良好な景観形成を推進している。令和5年度は、第4回ビュースポットおおさかの募集を実施し、新たに20か所選定予定。

○景観法に基づく景観計画による景観形成の推進

大阪府では、景観法に基づく景観計画を策定し、広域的な観点から景観上重要な区域(道路軸、河川軸、山並み・緑地軸、湾岸軸、歴史軸等)を定め、区域内で大規模な建築行為等を行う際には、良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項への適合をお願いし、良好な景観形成へ向けた規制誘導を実施した。

○市町村の景観行政団体化に対する取組

大阪府及び府内市町村により構成されている「大阪府景観形成誘導推進協議会」において、大阪府および市町村が行なう景観行政に関して、相互の理解と把握、及び協力、調整等を行うことにより、調和のとれたまちなみや個性豊かなまちなみの創出や保全に取り組んだ結果、令和5年度は島本町、和泉市が景観行政団体化。

○大阪都市景観建築賞(愛称 大阪まちなみ賞)の開催

大阪まちなみ賞は大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会、(一社)日本建築協会の共催で、個性と風格のある都市景観の形成に寄与するとともに、府民の都市景観に対する意識の高揚を図ることを目的に実施している。一般府民等から「建物」や「建物を中心としたまちなみ」を募集し、その中から景観上優れたものについて「大阪府知事賞」、「大阪市長賞」、「審査員特別賞」、「緑化賞」、「建築サイン・アート賞」、「奨励賞」の各賞を設け表彰した。

＜第42回 大阪まちなみ賞実績＞

大阪府知事賞 : 守口市立さくら小学校

大阪市長賞 : 大阪梅田ツインタワーズ・サウス

審査員特別賞 : 石切回廊

奨励賞 : OMO7 大阪 by 星野リゾート

上町メディカルテラス

NTT WEST i-CAMPUS(A 棟・QUINTBRIDGE)

大塚製薬大阪創薬研究センター

なんば SkyO

Ruelle sud/nord

5. 令和6年度 活動予定内容

- ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト
大阪・関西万博の開催 を控える中、民間企業や市町村との連携のもと、府内外、国内外の方に対して、ビュースポットおおさか等の景観資源プロモーションを集中的に実施予定
「きらめく世界都市・大阪」の実現に向けて、「府民・事業者・来訪者などの民間団体等」、「市町村」、「大阪府」の適切な役割分担のもと、引き続き景観まちづくりに取り組む。
- 市町村の景観行政団体化に対する取組
貝塚市移行予定
- 大阪都市景観建築賞(愛称:大阪まちなみ賞)
第43回募集(R6夏)予定